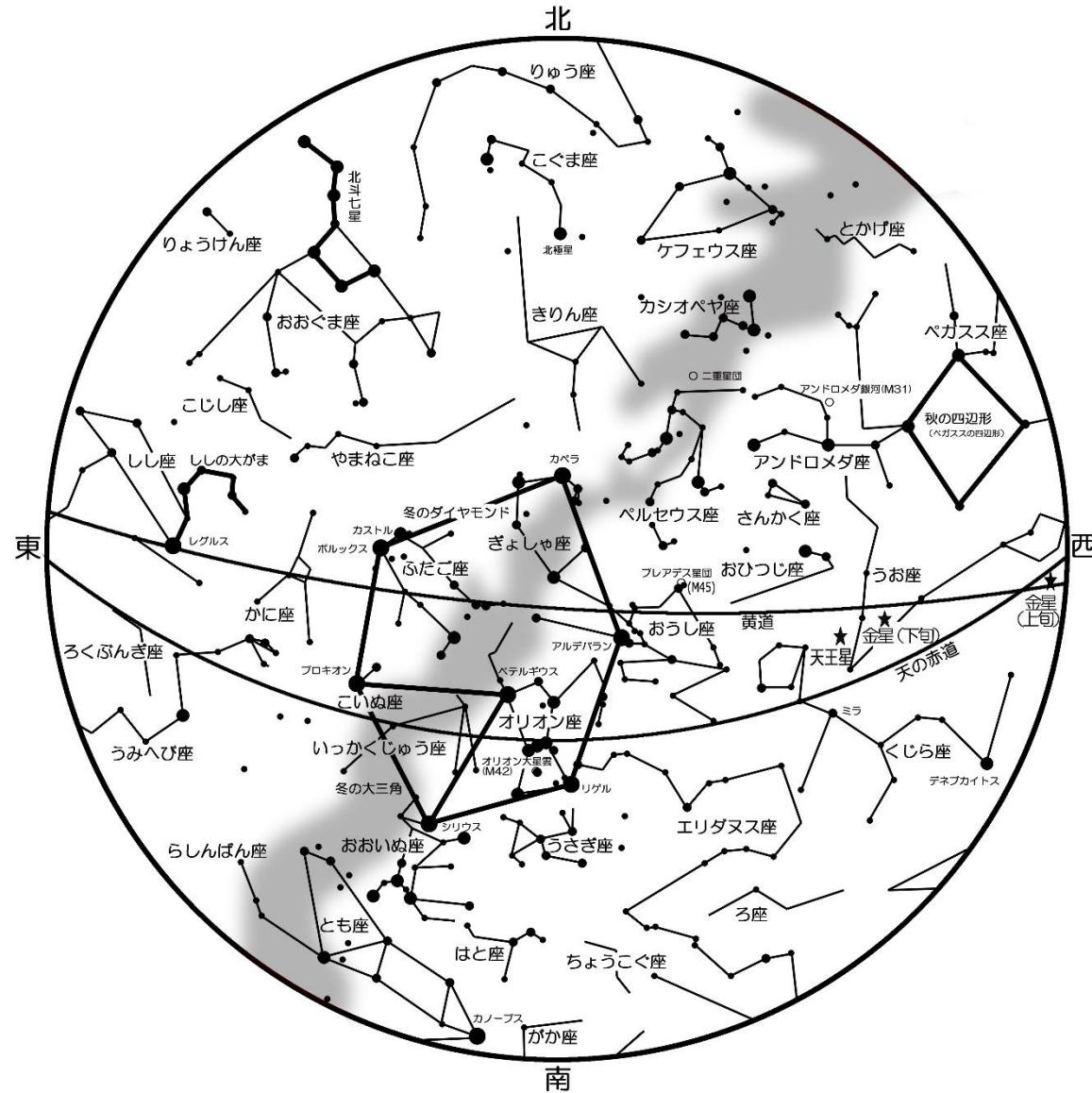


令和2年 2月の星空さんぽ☆ガイド ~ほしを眺めてみませんか~



★2月の星空案内

今月の星座探しは、南の空で輝く、等間隔に並んだ3つの星“三つ星”が目印のオリオン座から始めます。“三つ星”の左上で赤っぽく輝く1等星がベテルギウス、右下で青白っぽく輝く1等星がリゲルです。オリオン座の“三つ星”を北西にのぼしていくと、オレンジ色っぽく輝くおうし座の1等星アルデバランがあります。反対に“三つ星”を南東にのぼしていくと、全天で最も明るく輝くおおいぬ座の1等星シリウスがあります。そして、オリオン座の東側で明るく輝く星がこいぬ座の1等星プロキオンです。このプロキオン、ベテルギウス、シリウスを結んでできる三角形を“冬のダイヤモンド”といいます。プロキシオンの北で明るく輝く星はふたご座の1等星ポルックス。その西側にやや黄色っぽく輝いているのが、ぎょしゃ座の1等星カペラです。このカペラを頂点として、アルデバラン、リゲル、シリウス、プロキオン、ポルックスの6つの1等星を結んでできる大きな六角形が“冬のダイヤモンド”です。2月の夜空では、見ると寿命が延びるといふ伝説をもつ、りゅうこつ座の1等星カノープスも見つけることができます。カノープスは、オリオン座のベテルギウスとおおいぬ座のシリウスの真ん中を南へたどっていくと見つかる、地平線近くで輝く星です。南側が開けた場所ならカノープスを見つけてみることができるでしょう。美しく輝く冬のダイヤモンドとともに、長寿の星カノープスも探してみたいはいかがでしょうか。

< 現在見える惑星 >

水星(-1.0等前後): やぎ→みずがめ座付近	日没後、西南西の低空で輝く。(中旬)
金星(-4.1等前後): みずがめ→うお座付近	日没後、西南西の空でひととき明るく輝く。
火星(1.3等前後): へびつかい→いて座付近	夜明け前、南東の空で輝く。
木星(-1.9等前後): いて座付近	夜明け前、南東の低空で明るく輝く。(中旬から下旬)
土星(0.6等前後): いて座付近	夜明け前、南東の低空で輝く。(下旬)

注目の天文現象～明るく輝く金星と、なかなか見られない水星を観察しよう～

今月は日没後の西南西の空で、金星と水星が輝いています。金星は-4.1等でひととき明るく輝いており、3月25日の東方最大離角(地球から見て太陽の方向から最も東にはなれる時)に向けて高度を上げていくので、これからますます見頃を迎えていきます。

一方水星は、太陽系の惑星の中で一番内側を回っており、地球から見ると太陽のすぐ近くに見えているので、観察するのは非常に難しい惑星です。水星は今月10日に東方最大離角となり、見かけ上太陽から最も離れて見えるので、10日前後は水星が観察できる好期です。日没後の早い時間ではまだ空が明るいので、日没後30分から1時間くらいの間、また、西側が地平線まで見えるような場所で探してみるとよいでしょう。双眼鏡を使って探すのもおすすめですが、双眼鏡を使う際には、絶対に太陽の光が目に入らないように気を付けてください。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
2	日	☾上弦 (10:42)	10	月	水星が東方最大離角 (22:56)
4	火	立春 (18:03)	16	日	☾下弦 (07:17)
9	日	☉満月 (16:33)	24	月	●新月 (00:32)